

Family

令和6年10月特別号
(全国学力・学習状況調査)
小野市立河合小中学校

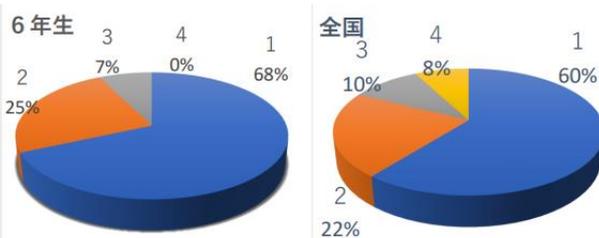
6年生 全国学力・学習状況調査について

河合小学校長 眞田 まや子
河合中学校長 高瀬 城作

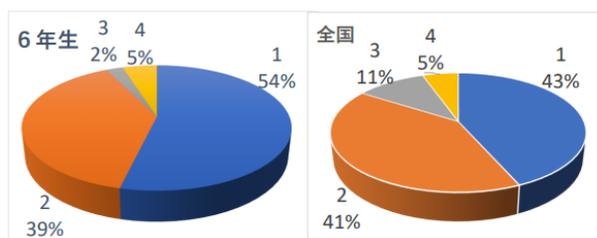
6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が4月に行われました。本校の結果とその分析は下記のとおりです。今後とも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの社会性を豊かにし、学力を向上させていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

◎6年生 生活調査 <とくに良好だった項目>

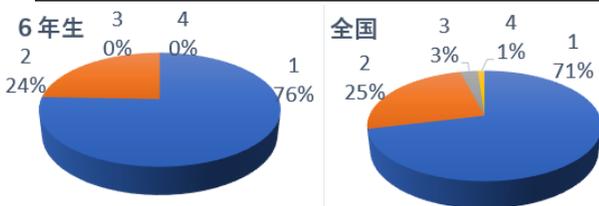
将来の夢や目標を持っていますか



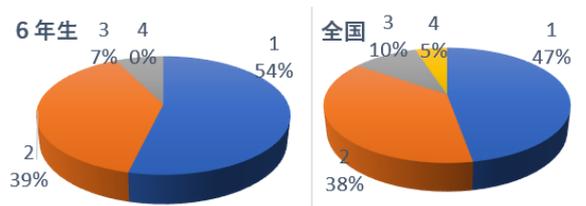
自分には、よいところがありますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか



学校に行くのは楽しいと思いますか



1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかという当てはまらない 4:当てはまらない

※6年生=本校6年生を示します。

【本校の特徴と考察、今後の課題】

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など、生活習慣に関する質問の回答に関しては肯定的なものが多く、規則正しい生活が送れていることが見受けられます。また、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えると思いますか」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」などの質問に対しても肯定的な回答が多くありました。また、5年生までの授業での「ICT 機器を活用し調べることができる」や「友達と協力しながら学習を進められる」活動も全国平均を上回っていました。また、「自分には、よいところがあると思うか」「将来の夢や目標を持っているか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問項目に対して「当てはまる」「どちらかという当てはまる」など肯定的な回答が多かったです。

一方で、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対して全国平均より下回っていました。今後は、地域行事への積極的な参加をより促すために、総合的な学習の時間や学級活動、専門部活動などの活動を通して、

児童が主体的に地域行事に参加するよう工夫した取り組みを推進していきます。

◎6年生 学力調査

結果（全国平均と比較した本校の結果）と各教科の結果と今後の方針

（1）国語

<p><良好であった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容を読み、話し手の考えと比較しながら、自分の考えを書く。 ・複数の資料を読み、内容を理解する。 ・原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 	<p><改善を要する項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・説明の仕方の特徴を理解する。 ・複数の情報の関係性を理解し、活用する。
---	--

【考察及び今後の指導】

- ・どの問題においても無解答がなく、自分の考えを書く習慣が身についています。また、後半の記述問題における正答率がかかなり高く、時間を上手に使って解答できています。
- ・心情や情景を読み取る力や他者の考えを理解し、自分の意見を述べることに課題が見られました。
- ・物語において、形式や読みの視点を理解する力、語彙力、正しく読み取ることに課題が見られました。
- ・たくさんの情報から条件に合うものを取捨選択する力の養成が必要です。じっくり文章を読むことを重視し、次に接続語などに注目しながら、内容を正しく読みとれるよう学習を積み上げていきます。
- ・考えを書く段階では、ただ引用するだけでなく、複数の資料を比較、分析したうえで、文章化を進めるよう留意していきます。
- ・意見の出し合いだけでなく、話題の中心や相手の意図を意識した対話的な授業づくりを工夫し、コミュニケーション能力を高めるような授業づくりを進めます。

（2）算数

<p><良好であった項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・$540 \div 0.6$を計算する。 ・家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。 	<p><改善を要する項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。 ・はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。
---	--

【考察及び今後の指導】

- ・全体的に計算も含め、基礎的・基本的な問題の正答率が高いです。また、全体的に無解答がほぼ見られませんでした。
- ・正答率の低かった設問のうち、上記<改善を要する項目>としてあげた問題については、知識や公式を応用したり、図形をイメージしたりすることを難しいと感じている児童が見られました。
- ・今後も、基礎基本の定着を図るために、授業や家庭学習で計算ドリルやおの検定を活用していきます。
- ・授業において、知識や公式を単純に覚えて問題を解くのではなく、公式化の過程やその意味を考えたり、他との意見交換から別の解法を探ったりする活動に時間をかけていきます。
- ・どの授業においても、言葉での説明や自分の考えを文章表記する練習を行うことで、書く力の定着を図っていきます。
- ・朝の10分間学習時間を活用し、5分間読解ドリルや読書活動を継続して行うことで多くの文章に触れ、必要な情報を読み取る力をつけていきます。また、思考力をつけるために、教科書の発展問題、発展ドリルを積極的に活用していきます。
- ・日常的な問題に結びつけ、算数で学習している内容が生活と結びついているのだと実感できるよう授業を工夫します。